

9 災害時の下校計画

1 震災等の災害時における下校計画作成にあたって

- (1) 自宅までの経路を複数確認し、緊急避難場所についても確認しておく。

東京都の防災マップのサイトを参考に、帰宅ルートや途中にある避難場所を確認するとよいでしょう。

- (2) 日頃より、家族で集合場所、連絡方法について話し合っておく。
- (3) 時間の余裕のあるときに、自宅までの経路を徒歩で確認し、所要時間、危険箇所を確認しておく。
- (4) 災害用伝言ダイヤル、災害用の掲示板などの使い方を練習しておく。

災害用伝言ダイヤル (171) は、毎月 1 日、15 日 0:00~24:00 ・正月三が日 (1 月 1 日 0:00~1 月 3 日 24:00) ・防災週間 (8 月 30 日 9:00~9 月 5 日 17:00) ・防災とボランティア週間 (1 月 15 日 9:00~1 月 21 日 17:00) などの日に体験利用が可能です。家族全員で、伝言の録音や再生の練習をしておくとよいでしょう。

録音：171⇒ガイダンス⇒1 をプッシュ⇒ガイダンス⇒自宅電話番号⇒伝言録音 (30 秒以内)

再生：171⇒ガイダンス⇒2 をプッシュ⇒ガイダンス⇒自宅電話番号⇒伝言聞く

※プッシュ式電話のみ利用可。暗証番号 4 ケタを利用することもできる。保存は 6 時間。

また、各携帯電話会社の災害用伝言板サービス等を確認しておきましょう。(詳細は Web で)

2 在校時に大震災が起こった場合の対応

災害時の下校計画 G 票に沿って対応する。

- (1) A 選択者は学校に残留させ、帰宅先の安全や交通機関の復旧が確認された後に帰宅させる。
- (2) B・C 選択者に対しては、帰宅先の安全や、帰宅経路の安全が確認された後に帰宅させる。
- (3) 生徒・保護者は、生徒の帰宅後「〇年〇組〇番、氏名、無事帰宅した」という連絡を、可能な方法で学校に入れる。
- (4) 安否の確認 安否については本校 HP において情報 (年次・組・出席番号) を発信する。

3 登下校時の途中で大震災が起こった場合の生徒の対応

- (1) 身の安全を守る

冷静に周囲の状況を判断し、生命の安全確保を第一とする。

- (2) 安否の確認・安否情報の発信

災害当時は、携帯電話は大変につながりにくくなる。公衆電話も試してみる。災害用伝言ダイヤルや携帯電話災害用伝言板などを活用し、家族や学校と連絡を取り、冷静に行動できるように落ち着く。

- (3) 正確な情報により冷静に行動する。

公共機関が提供する正確な情報 (NHK やラジオから、公的な機関の発表を聞く。警察や市役所の人などの公的な機関にいる人の指示を仰ぐなど) を入手し、状況に応じて、どのような行動 (帰宅、一時移動、待機) が安全なのかを自ら判断する。

原則的には自宅に帰宅することを目標に「災害時の下校計画」等を確認しながら、安全を考えて行動する。ただし、学校へ向かう方が安全と思われる場合は、家族に連絡して学校に向かうようにする。

- (4) 帰宅できるまで、帰宅困難者同士で助け合う。

- (5) 帰宅後、「〇年〇組〇番 氏名、無事帰宅した」との報告を後日知らせる方法で学校に連絡し、指示を受ける。